



# やまゆり

今年度の目標『共に学び高め合う  
思いやりと笑顔あふれる学校を目指して』  
目指す生徒像『誇れる上級生 学ぶ下級生』

令和8年5月11日  
八王子市立打越中学校  
学校だより No.2



## 「ピンチはチャンス」

校長 三浦 壮次

新緑が鮮やかに映える季節となりました。新年度が始まり一か月程が過ぎ、生徒たちも新しい環境に少しずつ慣れてきたように感じます。いろいろな場面で新学年での決意をしっかりともち、日々一生懸命に取り組んでいる生徒の様子を見たり聞いたりすることがたくさんあり、とてもうれしく感じています。一方で、緊張が和らぐこの時期は、心身ともに疲れが出やすい時期です。気温の変化も激しく、体調を崩しやすくなります。体調管理（熱中症等）には十分注意してください。

さて、皆さんは「ピンチの裏側」という詩をご存じでしょうか。次のような詩です。

神様は決して ピンチだけを お与えにならない  
ピンチの裏側には 必ずピンチと同じ大きさのチャンスを 用意して下さっている  
グチをこぼしたり ヤケを起こすと チャンスを見つける目がくもり  
ピンチを切り抜けるエネルギーさえ失せてしまう  
ピンチはチャンス  
どっしりとかまえて ピンチの裏側に用意されているチャンスを見つけよう  
(山本よしき 作)

「ピンチはチャンス」と言われるように、困難の中には必ず次につながる可能性があるという趣旨の詩です。思うようにいかない場面に直面したとき、つい弱音を吐いたり、あきらめなくなったりすることもあります。そのような時こそ、大きく成長する機会があるのではないのでしょうか。この詩は、かつて全国高等学校野球選手権大会で優勝した佐賀北高等学校の部室に掲げられていたことで有名になりました。決して恵まれた条件ばかりではない中で、最後まであきらめず、仲間と共に努力を重ねた結果、大きな成果をつかみ取りました。その背景には、日々の積み重ねと、苦しい場面でも前向きに取り組む姿勢があったと言われていいます。

本校では、今月23日に体育祭を予定しています。練習の過程では、思い通りにいかないことや困難に直面する場面もあるかと思いますが、その一つ一つの経験が、生徒の成長につながる大切な機会となります。仲間と「共に」支え合いながら課題を乗り越えていく中で、協力することの大切さや、最後までやり抜く力等が育まれます。本番では、競技はもちろんのこと、互いに全力で応援することや係の仕事等の自分の役割を責任をもって果たすことで、さらに自己肯定感や自己有用感、自己効力感なども高まっていくことと思います。11日（月）から本格的に練習も始まります。今年も3年生を中心に生徒一人一人が目標をもって体育祭に主体的に取り組む姿が見られることを期待しています。